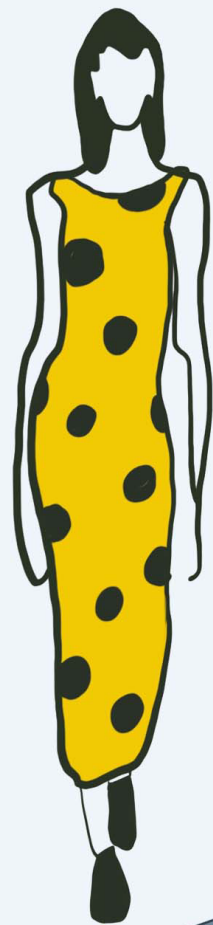


アフターナインショッピング



concept

まだまだ続きそうな時短営業。店の維持に障害となっているウイルスの蔓延はいつ終わるかわかりません。

そこで、ファッション通販サイトと連携した次世代の新しい買い物の在り方を提案します。モデルが服を着用した実寸大を閉じた店の壁やシャッターに投影し、小さい画面だけでは伝わり切らない情報を発信します。投影されるものは動画とし、風になびくスカートや歩いた時の服のシルエットなどを確認することができます。

室内で一箇所に集まる危険性も回避でき、夜の街灯としての役割も果たす他、人が投影されているので犯罪の抑止に期待ができるかもしれません。

投影にあたりスクリーンとして使用する壁やシャッターを借りている店舗には、投影代として対価を支払えば、微々たるものかもしれませんが、店が長く続く手助けになるのではないのでしょうか。

1. アフターナイン



仕事が終わった頃に店が閉まって実店舗での買い物ができない人に向けて、夜9時から投影を始めます。
ライフスタイルの多様化にも対応しています。

2. 通販サイトとの連携

最近では実店舗を持たず、ネット上のみで展開しているショップも数多く存在しています。このようなショップのデメリットは、やはり直接商品を手にとれないことです。

アフターナインショッピングの制度を導入すれば、実店舗を持つことよりも安く、ネットだけに縛られない販売の方法を新しく持つことができます。
たまたま道を通った人、塾や仕事の帰り道など、ショップに普段興味のないユーザーにも目に触れてもらえる機会が増えます。

壁に映すために利用するお店には月額料金を支払うことで、お店にもネットショップの方にも収益が出ます。

3. 買い方

投影されている映像と共に、QRコードもスクリーンに映します。買いたい商品のコードをスマートフォンなどで読み込むだけで商品ページへ飛ぶことができます。
その後、同じショップの違う商品も見ることができ、その時間に投影されていない商品にも興味を持ってもらうことができます。

4. 例えば

